

24. 皮膚腫瘍

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり ×:なし

○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日								各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ					
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	インターフェロン 療法	放射線療法			凍結 療法	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容		
							体外照射				治療内容	治療実績	医師の 専門 分野		
1	形成外科	2	2	状況 ○	×	×	×	×	腫瘍切除後の再建も行っております。	ア http://www.minoh-hp.jp/DEP/PLA/index.html			掲載あり		
				実績 あり						イ http://www.minoh-hp.jp/DEP/PLA/kensa.html	掲載あり	掲載あり			
2	皮膚科	3	2	状況 ○	○	○	×	○	皮膚病変、ホクロなど各種皮膚腫瘍の検査および治療を行っております。	ア http://www.minoh-hp.jp/DEP/DER/index.html			掲載あり		
				実績 あり	なし	なし		あり		イ http://www.minoh-hp.jp/DEP/DER/kensa.html	掲載あり	掲載あり			
3				状況						ア http://					
				実績						イ http://					
4				状況						ア http://					
				実績						イ http://					
5				状況						ア http://					
				実績						イ http://					

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例: 悪性黒色腫、乳房外パジェット、基底細胞がん、有棘細胞がん
------------------------------------	---------------------------------